

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

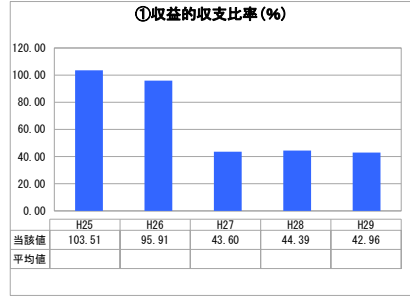
熊本県 南小国町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料(円)
-	該当数値なし	42.13	95.84	4,530

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,126	115.90	35.60
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,729	0.65	2,660.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



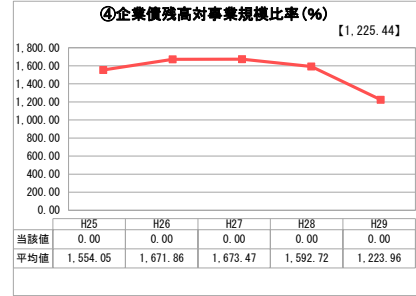
「単年度の収支」



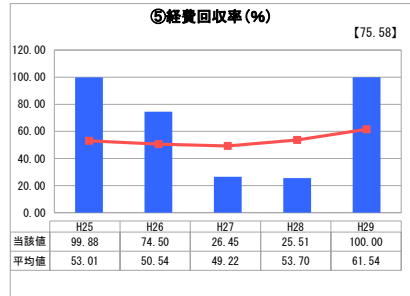
「累積欠損」



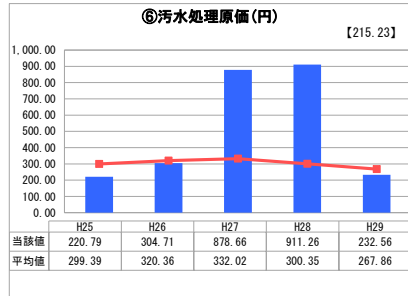
「支払能力」



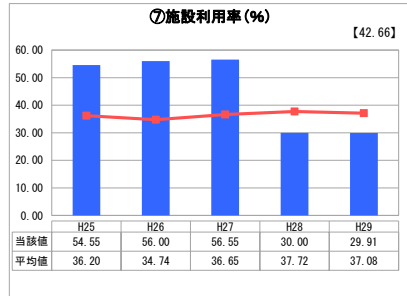
「債務残高」



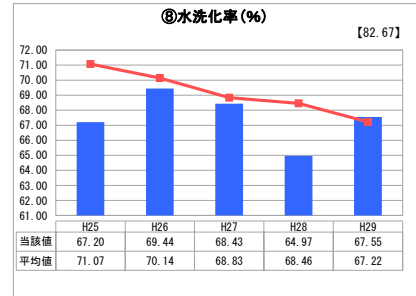
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

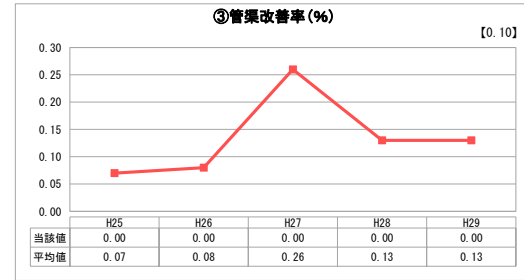
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が微減、経費回収率が増加、汚水処理原価については減少と推移が大きく変動しているが、現在も未普及地区への管渠等布設工事を行っている状況であるため、経営改善の取組として未加入者の加入促進を進める。また、工事完了後の維持管理費の状況を踏まえつつ経営改善計画の見直しが必要と考える。

### 2. 老朽化の状況について

平成19年からの供用開始であり、現在も未普及地区への管渠等布設工事を行っており、工事完了後に更新計画や長寿命化計画を策定予定である。

## 全体総括

平成19年からの供用開始であり、現在も未普及地区への管渠等布設工事を行っており、工事完了後に施設等の更新計画や経営改善に向けての計画を見直し予定である。また、現段階での経営改善の取組として使用料収入の増加を図るため、未加入者への加入促進に取組み、水洗化率の向上を目指す。

経営戦略：策定済

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。